

多摩市立図書館本館再整備基本設計市民説明会 第1回 質疑応答口

会場：関戸公民館 大会議室

日時：令和元年7月4日（木）19時から21時まで

参加者：26人

No.	意見・質問	回答
1	車椅子で利用可能か。バリアフリーの対応は。説明を聞いた限りでは階段が多く、色々置いてあり狭そうな感じがする。中央図書館では車椅子で本を探して利用できたら良いと思っている。	車椅子の方への対応は、まず、図書館の地下階に車椅子の方や障がいのある方用に「思いやり駐車場」を用意しています。地下から、開架エリアの1・2階はエレベーターでアクセスできるようにしています。また、開架の書架間隔は、車椅子の方と一般の方がすれ違える広めの設定にしています。
2	どれくらいの広さ、坪数で、どれくらいの人数を収容できるか。	敷地は4,400㎡、建物の延べ床面積は、5,500㎡です。収容人数のカウントはしていませんが、席数は約600席を計画しています。
3	車椅子以外のバリアフリーについて伺いたい。例えば、視覚障がいでは図書館を利用しやすいようなスタッフの配慮や設計上の配慮はあるか。	敷地の境界線からサービスデスクの前まで、また、段差のある場所にも点字ブロック等の設置を考えています。その後は、カウンター職員が対応し、ご案内します。また、バリアフリー関係の法令もきちんと対応していきます。
4	聴覚障がいへの対応も伺いたい。	カウンターの職員が筆談等で対応できるようにしていきます。
5	市民活動室なども作っているが、本来の図書館は個人利用だと思う。果たして集団が出来上がるかどうか、という問題があると思う。	新本館では従来の個人利用を充実させるとともに、広場系開架などで人と人がつながる図書館にしたいと思っています。
6	入り口が2つあり、それぞれにカウンターがあるため、職員の数が非常に増えるのではないかと、人件費の問題が浮上してくると思う。	ICTタグを活用した自動貸出機を導入するなど、ICT技術を駆使することにより、職員を増やさずに業務を効率化しながら、図書館サービスも向上させていくことを検討しています。
7	閲覧室が少ないのではないかと、狭いのではないかと、という気がする。	座席数としては、現在の本館の倍以上の約500～600席を用意する計画です。
8	今更言っても仕方ないと思うが、なぜ低層にしてしまったのか、残念である。	ワークショップでは、公園の中に溶け込むということも多くの方々が望まれているので、公園側から見たらワンフロアに見える図書館で基本設計を進めています。
9	エレベーターが2台あるが、1台が車イスなどが使用するもの、もう1台はどのような用途か。	もう1台は、業務用に職員が使うものです。
10	職員が利用するフロアについて、職員の方から要望があるかは分からないが、自分の経験上シャワーがあるととても便利だったので考えてほしい。	参考にさせていただきます。
11	図書館建設に伴い現在の公共トイレは撤去されるようだが、心配している。	中央公園北西の公共トイレは、新本館の敷地内に位置しますので、整備のなかで取り壊しますが、公園の利用者も新本館のトイレを利用できます。新本館のトイレの位置は、子ども用のものも含めて、利用者の動線や部分開館にも対応できるように配置しています。公園側から直接利用できるようにトイレ用の出入口を新たに追加することは、出入口から目の届く位置に職員を追加配置したり、本の盗難対策用のセキュリティゲートを増設する必要もあるので、管理上やコスト面からも難しいと考えています。
12	階高は費用がかかると思うが1cmでも高いほうが良い。	勾配屋根にした理由のひとつに公園の風景になじむようにという理由があります。軒先の方は低くしていますが、中央の最も高いところは5mほどになるので、建物は低くしつつも開放感は損なわないと考えています。

No.	意見・質問	回答
13	面積は十分とれているのか。5,500㎡を6,000㎡にして、他にないものを集めたほうが良いのでは。	現本館の面積が5,480㎡です。多摩市の公共施設全体で面積を増やさないために、上限を5,500㎡としました。現状の5,500㎡の中でも、書架や席数が基本計画の目標を達成しているので、これ以上、面積を増やすことは考えていません。
14	多摩市は学者が多く、自分が持っている資料を預かってほしいという人もいる。	地域の方々の資料を一時的にお預かりすることは難しいと考えています。図書館に資料を寄付していただく「寄贈」という制度があるので、ご利用いただくとありがたいと考えます。
15	整備スケジュールを配布資料入れるべき。	配布資料については、次回説明会から対応します。
16	図書館職員の人材育成をもっと積極的にしてほしい。	研修体制の充実を検討します。
17	中央図書館をつくる会や文庫活動など今まで図書館を支えてきた市民の意見を聞いてほしい。	今まで図書館を支えてくださった方たちへの配慮もしていきたいと考えています。
18	基本設計の完成を7月にこだわらず、市民の意見を聴いてほしい。	基本設計のスケジュールについては、今後の予算や設計・建設スケジュールの都合上、7月末を期限とすることをご理解いただきたいと思います。
19	設計者はプロポーザルを経てここまで設計していると思うが、基本構想・基本計画の理解が審査の基準になっていたと思う。今日の説明ではワークショップでの意見は入っていて、それも大事ではあるが、基本構想・基本計画をどう理解して図面にしたかという説明もほしかった。	多摩市の基本計画は密度と意気込みが感じられ、設計者としても、非常にわくわくしながら取り組ませていただいています。
20	現在の建設予定地になる以前は、桜美林アカデミーヒルズ内が候補地になっていたと認識しているが、変更の経緯について知りたい。	元々はアカデミーヒルズのプールがあった場所を予定していましたが、土地の購入や交換が必要でした。図書館建設のために新たに土地を購入することが適切なのかどうか、市議会の特別委員会でパルテノン多摩の改修と合わせて約1年半かけて議論してきましたが、新たに土地を購入することは難しいという結論に至りました。基本構想は旧プール跡地を想定して作成しましたが、基本構想の考えを生かせる場所で、新たな土地購入の必要がない、多摩センター駅からも近い等の理由で、現在の建設予定地が候補となり、市議会等での検討を経て、最終的に決定したという経緯があります。
21	中央図書館については、良い図書館ができれば良いと思っているが、中央図書館だけが突っ走っている印象。地域図書館がないがしろにされないか心配。中央図書館ができた後に予算不足により地域館が閉館になるようなことがないか心配である。地域館についても取り組んでいることをWeb等で発信してほしい。また、中央図書館の完成を待たずとも、地域館にパートナー（ボランティア）が活動できる場所や、地域館にもwi-fi環境を整備しても良いと思う。	基本計画にあるように中央図書館が全館を支援する方針に変更はございません。ご意見を今後の取り組みの参考にさせていただきます。